

令和6（2024）年度 柏崎市立教育センター 運営委員会

開催予定：令和7（2025）年2月7日

実施状況：荒天および降雪による道路状況悪化のため中止

代替手段：事前に配付した運営委員会会議資料をもとに、メールによる質問・意見の集約を行った。その後、お寄せいただいた質問・意見をもとに、事務局から回答をまとめ、全委員に送付した。

令和6(2024)年度 柏崎市立教育センター 運営委員会中止に伴う、意見集約および回答	
1 今年度の事業運営及び実績報告について	
(1)教育研究班(教職員研修・情報教育)	
GIGA スクール構想は推進すべきだと思います。 そのためには、指導者の知識・技術・指導力を高める努力が必要ではないか。 また、児童生徒には情報モラルの指導や子どもの実態に即した指導をお願いしたい。 【事務局】 A 委員のご意見のとおり、教員の情報活用能力の向上、児童生徒の実態に即した指導が GIGA スクール構想下の教育活動では必要です。 情報活用能力の向上を図る研修は「GIGA スクール対応研修」として設けています。前年度からは学校の実態に即した研修ができるよう、各校を会場とした訪問型研修を設けて、受講者数は増加しています。また、情報モラル教材として、活用型情報モラル教材「GIGA ワークブックかしわざき」を作成し、教育センターのホームページにも掲載されています。今後、市内共通の教材として用い、情報モラル指導の充実を図ります。	A 委員
受講者を増やすため、学校研との連携を強めたい。そのために、早い時期に学校研各教科部長に希望を聞き、学校研各教科部からの要望を講座開設に生かすことはできないか。 【事務局】 貴重なご意見ありがとうございます。今年度、各教科部長にご協力いただき、来年度の研修内容についての事前調査を12月に実施いたしました。来年度は、今年度より早い時期に事前調査を行い、各教科部の希望も考慮して研修内容を検討していければと考えております。	B 委員
匠の授業がとても効果的だと感じた。若い先生方にとって、レベルの高い授業を参観し、教師の指導技術等を身近に感じる事が何よりの研修になる。可能であれば、もっと増やしてほしい。 【事務局】 貴重なご意見ありがとうございます。匠の授業は大変ご好評いただいている研修であり、来年度は中学校国語と道徳の2つの授業を増やす予定でおります。より多くの先生方に匠の授業を参観していただき、学んだことを各校に広めてもらえたら	C 委員

と考えております。	
(2)科学班(科学技術教育センター)	
科学研究発表会については、年々発表者が少なくなっている。また、発表に向けての準備や当日の引率等、職員の負担も大きい。提案のとおり、紙面発表にしていただけるとありがたい。紙面発表により、応募数も増えるかもしれない。 【事務局】 調べ学習の作品数は100前後あり、それが科学研究と同様の内容であるという現状です。児童生徒にとって、発表する形態が、経験する価値のあるものか次年度検討していきたいと考えます。	B 委員
要請研修を活用させていただいた。子どもたちにとって貴重な経験、体験になり、興味関心が高まった。 【事務局】 ご意見ありがとうございます。鵜川と鯖石川の学習、聖ヶ鼻と椎谷の地層見学の支援を実施しました。また、科学実験教室など延べ2200人以上の児童生徒の支援を実施しました。本物を観て触る経験を安全に実施できるよう努めていることで、信頼され、利用していただけてありがたいです。	C 委員

2 令和7(2025)年度の事業概要について	
各校の校内研修に教育センター研修（研修講座）を活用することで、学力向上、授業改善につなげることを期待する。よい活用事例があれば、紹介してほしい。 【事務局】 柏崎小学校さんからは、教職員の校内研修の一環として、「授業づくり研修（ユニバーサルデザイン化）」にご参加いただきました。また、内郷小学校さんからは、出前講座「授業づくりおうえん講座」に年間を通してお申し込みいただき、年4回校内研究授業を参観し、協議会の後にお話させていただきました。その他にも若手教員に対して、指導案づくりの相談に個別で応じたケースや、学校の実態に合わせて、特別支援と学力向上の視点でお話させていただいた学校、全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた分析方法と学力向上に向けた取組についてお話させていただいた学校もあります。 出前講座「ICT活用研修」も多く各学校からご活用いただきました。特に学習支援ソフト「ミライシード」の機能の一つである「オクリンクプラス」の研修への要望が多く見られました。 今年度よりこの出前講座の様子を「学校教育かしわざき」で紹介してきましたが、このような学校のニーズに合わせた研修が行えることをより多くの学校に周知していけるように今後も努めてまいります。	C 委員

3 その他 ご意見や、情報共有事項など

他市町村と比べても、研修講座の「質・数」は優れており、豊かな研修環境に恵まれていることを幸せに思います。残念なのは、受講者が少ないこと。せっかく柏崎・刈羽に勤めたのに受講しない（できない？）のはもったいないことです。教職員の資質向上・授業力向上のため、受講者が意欲的に研修に参加できる体制づくりに学校研も協力したいと思います。 【事務局】 学校研よりご協力いただき、大変ありがとうございます。教職員がより主体的に研修に取り組めるよう研修形態や事業案内の案内方法を見直しました。具体的には、悉皆研修であっても、希望する教職員も参加可能としたり、参加を奨励する対象者を分かりやすく表示したりするなどの工夫を加える予定です。	B 委員
柏崎市では今後 20 年間で市内小中学校の児童生徒数が 4 割減少するという未来予測が立てられています。それに伴い間違いなく学校統合が進んでいき、当然、自宅から学校までの距離が増えていくことが予想されます。今後より一層、防災教育の充実が必要になってくると思います。また学校統合により、家庭、学校の連携は取れても、地域との連携は希薄になっていくことが予想されます。家庭、学校、地域が三位一体となって児童生徒の健全育成推進に取り組んでいくことが学校運営、教育活動の基本だと考えます。今後、学校行事などにおける地域とのかかわりが薄くなる可能性がある中、教職員研修や学校が行う地域の観察活動などで、今まで以上に地域との連携が生まれれば良いと思います。 【事務局】 貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。教育センター研修として、防災教育学習会（原子力防災講座）や地域学校協働活動コーディネーター・担当者研修会を実施しております。また、理科の分野では、児童を対象とした地層や川の現地での観察会や教職員を対象とした自然観察研修（校庭や学校周辺の植物観察・米山の自然・季節ごとの星空観察）等も行っております。また、来年度は、「柏崎めぐり」という地域素材を生かした教職員研修も予定しております。今後も防災教育や地域との連携について、より充実した研修となるよう努めてまいります。	D 委員
多くの研修会を企画・運営していただき、ありがとうございました。職員の実践力、学校の教育力の向上につながっていると思います。今後も充実した研修が行われますよう、よろしくお願い申し上げます。 【事務局】 温かいお言葉をいただき、ありがとうございます。今後も教職員のニーズに合わせた研修が行えるよう努めてまいります。	E 委員

研修講座や各種事業の計画、準備、当日の運営、まとめ等を細かく丁寧に進めていただき、大変ありがたいです。今後ともよろしくお願いします。 【事務局】 温かいお言葉をいただき、ありがとうございます。今後も教職員にとって分かりやすく、参加しやすい研修になるように努めてまいります。	C 委員
---	------

以上